

開 議 午前10時00分

○議長（小松則明君） おはようございます。

ただいまの出席議員数は12名であります。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

議員の皆様申し上げます。本日の採決につきましては、電子採決システムにより行います。

○

日程第1 議案第26号 令和7年度大槌町一般会計予算を定めることについて

日程第2 議案第27号 令和7年度大槌町国民健康保険特別会計予算を定めることについて

日程第3 議案第28号 令和7年度大槌町介護保険特別会計予算を定めることについて

日程第4 議案第29号 令和7年度大槌町後期高齢者医療特別会計予算を定めることについて

日程第5 議案第30号 令和7年度大槌町水道事業会計予算を定めることについて

日程第6 議案第31号 令和7年度大槌町下水道事業会計予算を定めることについて

○議長（小松則明君） 日程第1、議案第26号令和7年度大槌町一般会計予算を定めることについてから、日程第6、議案第31号令和7年度大槌町下水道事業会計予算を定めることについてまで、予算6件について一括議題といたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております予算6件については、議員全員による予算特別委員会で審査しておりますので、委員長報告を省略し、質疑を終結したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小松則明君） 御異議なしと認めます。委員長報告を省略し、質疑は終結することに決定いたしました。

これより、予算6件について順次討論、採決を行います。

日程第1、議案第26号令和7年度大槌町一般会計予算を定めることについて、討論に入ります。阿部俊作君。反対ですか、賛成ですか。（「反対討論ですが、よろしいでしょうか」の声あり）どうぞ。

○10番（阿部俊作君） 阿部俊作です。

一般会計のことについて、反対討論を申し上げます。

当町の一般会計は大変良好な財政運営を行っており、本来は反対するものではありませんが、この中に下水道事業会計の補助金が削減され、その削減された分が利用者負担に回されております。

事業会計は黒字を目指すことは当然であります、しかし公共事業は暮らしを支えるという部分が大きくあります。

今、町の商業施設等を見れば、多くの店が撤退になっております。撤退、ますますこのように増えるようなことになってはならないと思います。なぜこういうふうに商業施設等の店舗が撤退しているか。それは、消費者の皆さんが買い控えをしていることにあります。

ここで、町で行うべきは、消費者の暮らしを支える、そういう方向に転じて、町の経済、それをさらに活性化することが大事ではないかと思えます。

そのために、暮らしを支え、消費を伸ばし、そのことによって町の経済の低迷も、さらに今度は発展の方向に向かうのではないか。私はそのように考えて、それで下水道予算の再考を求め、一般会計及び下水道予算に反対するものです。

どうか皆さん、よろしくお願いいたします。

○議長（小松則明君） 次に、賛成ですか。（「賛成です」の声あり）賛成討論を菊池忠彦君。

○3番（菊池忠彦君） 私は、議案第26号令和7年度大槌町一般会計予算について、賛成の立場から討論を行います。

令和7年度の大槌町一般会計当初予算額は103億8,000万円で、前年度当初予算に比べ2億7,300万円、2.7%の増額となっており、町では引き続き財源確保と行政コストの削減に努めながら、重要な施策の選択肢を狭めることのないように効果的な財政運営を図っていくとしております。

まず、歳入は前年度より町税に若干の減収が見られるものの、基金の取崩し額が前年度より減少しているなど、歳入全体で見ると増加傾向にあると判断できると感じております。

しかしながら、ここ数年増加傾向にあったふるさと納税寄附額が、物価高騰、輸送費上昇などが要因となり、減少に転じております。今後も返礼品の開発などに取り組んで

いただき、安定的な寄附の確保に創意工夫を凝らした取組を展開していくものと大いに期待するところであります。

一方で、歳出予算では、特にも評価できることは、重点施策として掲げる地方創生事業への具体的な取組として、大槌高校魅力化推進事業に4,857万7,000円を計上し、職業体験学習「大槌型デュアルシステム」として、町内事業者とともに将来の担い手の確保と定住の促進を図ることにしております。

さらには、町情報の発信によりU・Iターン等の促進を図ることで、町の人口の増加及び定住を促進するとともに、地域経済の活性化を図り、活力ある町を目指す取組として、おおつち移住・定住推進事業に6,607万円を計上しております。いずれも人口減少克服に向けた取組として大いに期待し、率直に高く評価するところでございます。

また、土木費は前年度当初予算額より9,723万9,000円増額し、18億682万1,000円を計上しております。いわゆる復興特需も終えんを迎えた今、事業の減少に伴い、町内の土木・建築事業者などでは、次なる収益源の確保、雇用の維持などが大きな課題となっております。

また、新型コロナウイルス感染症が落ち着いているとはいえ、不安定な世界情勢による物価高、エネルギー価格の高騰により、町内事業者は苦境に立たされております。

そのような現状の中、公共工事を増やすための積極的な予算計上は、町内事業者を支える一手として大いに期待するものであります。

さらに、かねてから懸案となっていた町道の道路改良工事など、地域住民の暮らしの安全・安心確保のための取組も評価に値するものと思われま。

総じて歳出全体を見渡せば、全てが地方創生に大きくつながる施策と評価するところであります。

以上、歳入歳出のバランス、さらには本予算案に町民、議会の声が大きく反映されていることを鑑み、また重点施策でもある第9次大槌町総合計画に掲げる施策を着実に展開し、持続可能な行財政運営がよりよい事業につながることを期待しつつ、本予算への賛成討論といたします。

○議長（小松則明君） ほかに討論はございますか。（「なし」の声あり）討論を終結いたします。

日程第1、議案第26号令和7年度大槌町一般会計予算を定めることについて採決をいたします。

本案に賛成の方は賛成のボタンを、反対の方は反対ボタンを押してください。お願いいたします。

押し忘れなしと認め、確定いたします。

賛成多数であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第2、議案第27号令和7年度大槌町国民健康保険特別会計予算を定めることについて討論に入ります。（「なし」の声あり）討論を終結いたします。

これより、議案第27号を採決いたします。

本案に賛成の方は賛成のボタンを、反対の方は反対ボタンを押してください。お願いいたします。

押し忘れなしと認め、確定いたします。

賛成全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第3、議案第28号令和7年度大槌町介護保険特別会計予算を定めることについてを議題といたします。

討論に入ります。（「なし」の声あり）討論を終結いたします。

これより、議案第28号を採決いたします。

本案に賛成の方は賛成のボタンを、反対の方は反対ボタンを押してください。お願いいたします。

押し忘れなしと認め、確定いたします。

賛成全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第4、議案第29号令和7年度大槌町後期高齢者医療特別会計予算を定めることについて討論に入ります。（「なし」の声あり）討論を終結いたします。

これより、議案第29号を採決いたします。

本案に賛成の方は賛成のボタンを、反対の方は反対ボタンを押してください。お願いいたします。

押し忘れなしと認め、確定いたします。

賛成全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第5、議案第30号令和7年度大槌町水道事業会計予算を定めることについて討論に入ります。（「なし」の声あり）討論を終結いたします。

これより、議案第30号を採決いたします。

本案に賛成の方は賛成のボタンを、反対の方は反対ボタンを押してください。お願い

いたします。

押し忘れなしと認め、確定いたします。

賛成全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第6、議案第31号令和7年度大槌町下水道事業会計予算を定めることについて討論に入ります。（「なし」の声あり）討論を終結いたします。

これより、議案第31号を採決いたします。

本案に賛成の方は賛成ボタンを、反対の方は反対ボタンを押してください。お願いいたします。

押し忘れなしと認め、確定いたします。

賛成多数であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

○

日程第7 報告第5号 損害賠償額の専決処分の報告について

日程第8 議案第32号 令和7年度大槌町一般会計補正予算（第1号）を定めることについて

○議長（小松則明君） 日程第7、報告第5号損害賠償額の専決処分の報告についてから、日程第8、議案第32号令和7年度大槌町一般会計補正予算（第1号）を定めることについてまで、2件を一括議題といたします。

ただいま議題に供されました議案について、当局から提案理由の説明を求めます。総務課長。

○参事兼総務課長（藤原 淳君） 本定例会における報告1件、議案1件の追加につきまして、提案理由を申し上げます。

報告第5号損害賠償額の専決処分の報告については、旧金沢小学校体育館敷地内において、職員が樹木の伐採作業をした際に、切り倒した木により電話線を破損したことによる損害賠償額の専決処分の報告であります。

議案第32号令和7年度大槌町一般会計補正予算（第1号）を定めることについては、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の計上に伴い増額補正しようとするものであり、既定の歳入歳出予算総額に歳入歳出それぞれ5,089万2,000円を追加し、歳入歳出予算総額を歳入歳出それぞれ104億3,089万2,000円とするものであります。

以上、提案理由を申し上げます。御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（小松則明君） 日程第7、報告第5号損害賠償額の専決処分の報告についてを議

題といたします。

提案理由の説明が終了しておりますので、直ちに内容説明を求めます。協働地域づくり推進課長。

○協働地域づくり推進課長（太田信博君） それでは、内容について御説明いたします。

次ページ、専決処分書をお開きください。

1、損害賠償の相手方、町外所在の法人。

2、損害賠償の額、1万6,239円。

3、示談の内容、損害賠償の額を上記2のとおりとし、双方とも今後いかなる事情が発生しても異議申立てをしない。

4、損害賠償の原因、令和7年1月31日午後4時頃、旧金沢小学校体育館敷地内において、職員が樹木の伐採作業をしていたところ、切り倒した木によりケーブルを破損し、損害を及ぼしたものであります。

専決処分日は令和7年2月25日であります。

以上、御報告いたします。

○議長（小松則明君） 質疑に入ります。（「なし」の声あり）質疑を終結いたします。

以上で報告第5号を終わります。

日程第8、議案第32号令和7年度大槌町一般会計補正予算（第1号）を定めることについてを議題といたします。

提案理由の説明が終了しておりますので、直ちに内容説明を求めます。企画財政課長。

○企画財政課長（太田和浩君） それでは、内容について御説明いたします。

補正予算書の1ページをお開きください。

第1表歳入歳出予算補正。

歳入。

14款国庫支出金、補正額4,876万7,000円の増は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金であります。

18款繰入金、補正額212万5,000円の増は、財政調整基金繰入金であります。

2ページをお願いいたします。

歳出。

2款総務費、補正額95万2,000円の増は、公共交通運行支援事業交付金であります。

3款民生費、補正額305万円の増は、介護サービス事業所、障がい福祉サービス事業所

及び児童福祉サービス事業所に対する物価高騰対策支援給付金であります。

7款商工費、補正額4,689万円の増は、地域商品券事業費、運輸事業者運行支援緊急対策事業補助金であります。

以上、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,089万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ104億3,089万2,000円とするものです。

以上、御審議よろしくお願いたします。

○議長（小松則明君） 質疑に入ります。

5ページをお開きください。

歳入。一括します。進行いたします。

6ページ、歳出。一括します。菊池忠彦君。

○3番（菊池忠彦君） 商工費、地域商品券発行業務、この下、地域商品券事業補助金のところで伺います。

今回改めて、どういった形で商品券事業をするのか。その辺、少し詳しく教えてください。

○議長（小松則明君） 産業振興課長。

○産業振興課長（藤原英志君） 議員の質問にお答えいたします。

ここ数年は電子決済のほうを行っておりますが、今回はプレミアムつき商品券発行を考えております。

商品券につきましては、令和4年度の実施した内容を基に、同じ内容で実施したいと考えておまして、1万円の商品券を1万2,500円で販売。すみません、逆でした。1万2,500円分の商品券を1万円で販売、プレミアム分については25%になるんですが、商品券の発行数は1万6,000冊を考えております。

販売日なんですが、6月の年金受給日に合わせて販売をしたいと考えておまして、商品券の使用期間は12月31日、令和7年いっぱいを想定して、今計画を進めているところでございます。

○議長（小松則明君） 菊池忠彦君。

○3番（菊池忠彦君） 改めて、1万2,500円分を1万円で買えると、そういうことだと思うんですけども、昨年、P a y P a yの決済でこの支援事業をやりましたけれども、やはり公平性ということを考えると、必ずしも公平ではなかったのではないかと。決済端末を持っていないければ、その事業の恩恵は受けられない。あるいは、P a y P a yの決

済をやっていない小売店さんなんかは、その恩恵を受けられないということで、今回はアナログではあるけれども紙媒体になるということで、やはり全町民が恩恵を受けることができる。私は非常に今回いい決断だと思うんですね。

やはり1月、2月の消費の冷え込みを考えると、6月と言わずに、本来であれば5月であるとか、連休に合わせてやるとか、私はそう感じるんですけども、どうでしょう、その辺の御見解は。ちょっと難しいかもしれないけれども、見解だけ伺います。

○議長（小松則明君） 産業振興課長。

○産業振興課長（藤原英志君） 議員の質問にお答えいたします。

商品券の印刷とかもかかるので、また、やっぱり年金受給者の方々が多く購入できるように、年金受給日をスタートにしたいと考えております。

○議長（小松則明君） 菊池忠彦君。

○3番（菊池忠彦君） 分かりました。では、6月、年金支給日に合わせてということで、しっかりお願いしたいと思います。

やはり事務的な負担というものは当然増えると思うんですけども、職員の皆さんとか、いろいろそういった事務的な部分で大変かと思いますが、ぜひ町内の消費を喚起するためにも、しっかりと対応していただきたい。終わります。

○議長（小松則明君） 東梅康悦君。

○11番（東梅康悦君） 菊池議員と同じ内容になりますが、まずこの事業につきましては大賛成でございます。そこで伺いますが、1万6,000セットをまず6月の年金に合わせてということでありますが、1人当たり、それでは幾らまでという話も以前あったと思うんですが、そういう部分に関しては、まず上限を設けないという考え方、あるいはその1人当たり何セットまでという考え方なのか。その部分を教えてください。

○議長（小松則明君） 産業振興課長。

○産業振興課長（藤原英志君） 議員の質問にお答えいたします。

令和4年度と同じく、1回の購入で1人2セットまでという制限で販売したいと考えております。

○議長（小松則明君） 東梅康悦君。

○11番（東梅康悦君） この内容を見ますと、まず全店舗の共通が15枚で、小規模な店用で10枚ということなんですが、これは繰り返しますが、町内の大型店あるいは小売店の中の利用ということで再確認したいんですが、よろしいでしょうか。

○議長（小松則明君） 産業振興課長。

○産業振興課長（藤原英志君） この商品券は地元の事業者だけで使われるもので、共通としては、どの小規模も大型も使えるものと、あと小規模専用の限定した商品券も合わせた組合せと考えております。

○議長（小松則明君） その他、質疑はございませんか。阿部俊作君、ございませんか。ないですか。

質疑を終結いたします。

討論に入ります。（「なし」の声あり）討論を終結いたします。

これより、議案第32号を採決いたします。

本案に賛成の方は賛成のボタンを、反対の方は反対ボタンを押してください。お願いいたします。

押し忘れなしと認め、確定いたします。

賛成全員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

○

日程第9 議員派遣の件

○議長（小松則明君） 日程第9、議員派遣の件を議題といたします。

お諮りいたします。議員派遣については、お手元に配付しておりますとおり派遣することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小松則明君） 異議なしと認めます。よって、議員派遣の件については、原案のとおり派遣することに決定いたしました。

○

日程第10 閉会中の継続調査の件

○議長（小松則明君） 日程第10、閉会中の継続調査の件を議題といたします。

総務教民、産業建設の各常任委員長及び議会運営委員長から、会議規則第75条の規定により、お手元に配付していました申出書のとおり、閉会中の継続調査の申出がありました。

お諮りいたします。各常任委員長及び議会運営委員長から申出のとおり閉会中の継続調査とすることに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小松則明君） 御異議なしと認めます。よって、各常任委員長及び議会運営委員長からの申出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定いたしました。

以上で本日の日程は終了いたしました。

お諮りいたします。本定例会に付議された議案等は議了したことから、会議規則第7条の規定により、本日で閉会したいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小松則明君） 御異議なしと認めます。したがって、本定例会は本日で閉会することに決定いたしました。

これで本日の会議を閉じます。

令和7年3月大槌町議会定例会を閉会いたします。

大変御苦労さまでございました。

閉 会 午前10時29分

上記令和7年3月定例会会議の次第は、書記の記載したものであるが、その内容の正確であることを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

議 長

議 員

議 員